

目標値達成に向けた削減 (福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ)

別紙2



部門	項目	2013年度	2018年度	2030年度	2040年度	2050年度
福島県全体	排出量(実績値)	18,703	16,805			
	BAU推計値			15,832	14,779	13,518
	省エネルギー等による削減量			▲5,990	▲9,190	▲12,218
	温室効果ガス排出量①			9,842	5,589	1,300
	森林吸収量②	1,670	1,290	1,294	1,297	1,300
	実質排出量(①-②)	17,034	15,515	8,548	4,292	0
	実質排出量 2013年度比率(%)		91	50	25	0
	削減率(%)		▲9	▲50	▲75	▲100



目標値達成に向けた削減 (福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ)



⇒ 福島県資料では、省エネによる削減分と再エネによる削減分の比率は半々 (1 : 1) 程度



目標値達成に向けた削減（前回資料）

目標削減量達成のための内訳

- ◆ 削減は、現状の排出量及びBAUシナリオの排出量（①）に対し、各年度の目標削減量を整理
- ◆ ⑤ ⇒ ③ ⇒ ② の順番で試算した
※詳細の削減目標数値は今後具体的に検討（下記数値は暫定値）

項目	式	単位	2013年度	2019年度	2030年度	2050年度
① 基準となるCO2排出量 (2019年度までは実績値、2030年度以降はBAU推計値)		千t-CO2	484	422	390	319
② 目標削減量		千t-CO2	-	-	-136	-297
②-1 省エネによる目標削減量		千t-CO2	-	-	-60	-134
②-2 再エネによる目標削減量 (自家消費型の再エネ推進、排出係数の低減による削減)		千t-CO2	-	-	-76	-163
③ 再エネ推進・再エネ導入推進後のCO2排出量	①-②	千t-CO2	484	422	253	22
④ 吸収源によるオフセット (現状の吸収量そのまま推移したと仮定した場合)		千t-CO2	-22	-22	-22	-22
⑤ 脱炭素シナリオにおけるCO2排出量	③-④	千t-CO2	461	399	231	0
⑥ 基準年（2013年）度比CO2排出量			0%	-13%	-50%	-100%

※小数点端数処理により合計値が一致しない場合がある

「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」では、省エネによる削減分と再エネによる削減分の比率は概ね 1 : 1 と設定されていた。
 なお、南相馬市は現状再エネ導入が進んでいるため、省エネと再エネの比率を 1 : 1.25 と仮定した。